

# 灌注処理で ハダニ類を いちご本圃へ 持ち込まない!



## モベント<sup>®</sup> フロアブル

ハダニ類

コナジラミ類

アザミウマ類

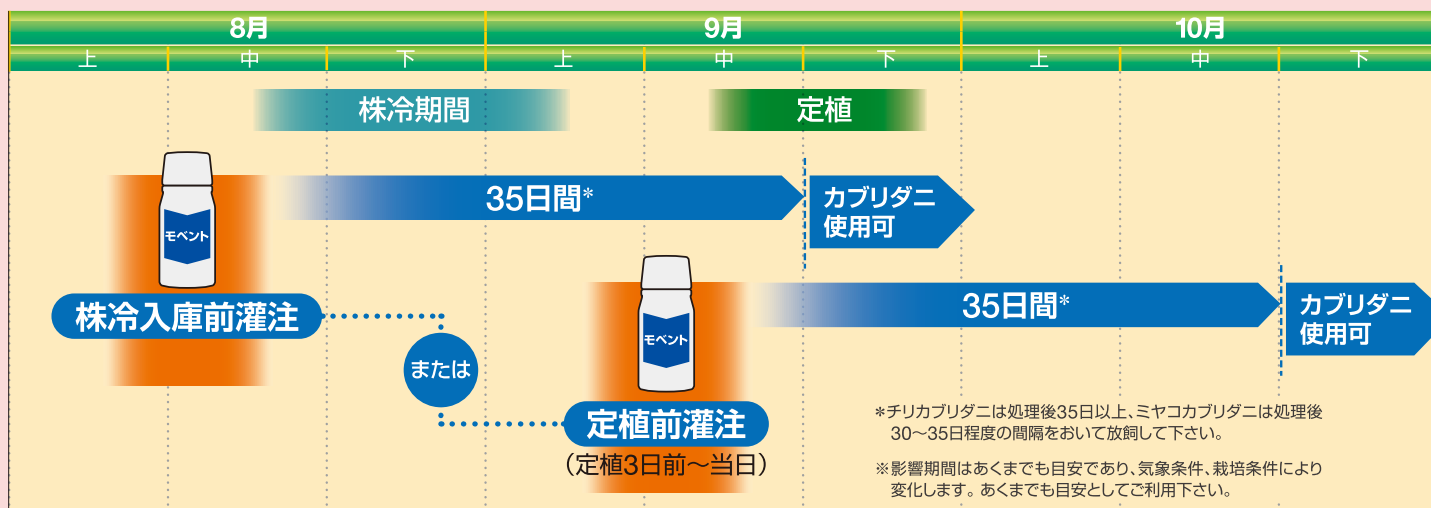
アブラムシ類

1本で  
1,000株  
(50ℓ)



1本で  
2,500株  
(125ℓ)

### ハダニ類を本圃に持ち込まないように、定植前の灌注処理でキチンと防除しましょう!



### モベント<sup>®</sup>フロアブルの適用害虫と使用方法 (いちご:灌注処理のみ抜粋)

2021年7月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	使用回数*	
						本剤	スピロテラマト
いちご	ハダニ類	500倍	50mℓ/株	育苗期後半 ~定植当日	灌注	1回	1回
	アザミウマ類		25~50mℓ/株				
	コナジラミ類	250倍					
	アブラムシ類		ハダニ類				

\*印は収穫物への残留回避のため、その日までに使用できる収穫前日数と本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

●「いちご」の散布登録、およびその他の適用作物、適用害虫等は製品ラベルをご確認下さい。

●ミツバチ：灌注処理後翌日より放飼可能。●カブリダニ類：処理後約35日後より放飼可能。

\*チリカブリダニは処理後35日以上、ミヤコカブリダニは処理後30~35日程度の間隔をおいて放飼して下さい。



## 上手な灌注処理法



以下に留意して「登録の薬量をしっかり処理」することが、効果発揮のポイントです。

**1** 下葉かきは丁寧に行い、灌注時に邪魔にならない様準備する。

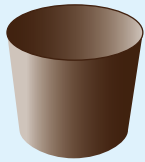
**2** 薬剤を十分吸収させるため、灌注処理前の灌水は控える。

**3** 弱めの水圧でゆっくり葉の上から丁寧に灌注する。

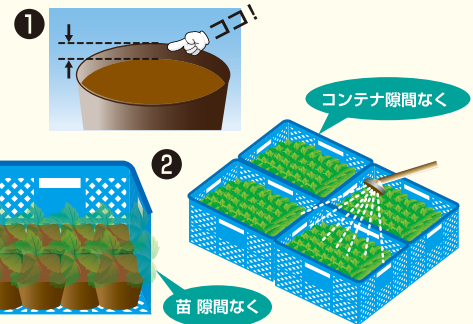
**4** 薬剤を十分吸収させるため、灌注処理後の灌水は控える。



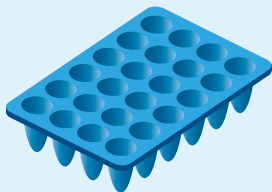
### ビニールポット



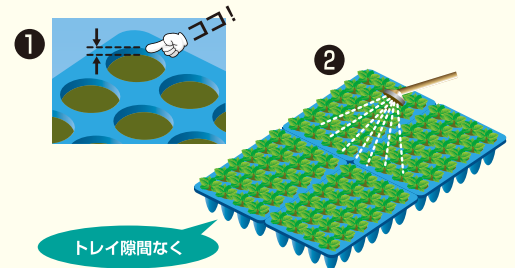
- ① 挿し芽時は少な目の培土で薬液溜を意識した植え付けを行う
- ② 灌注処理時は、苗はコンテナなどに隙間なくつめる  
また、コンテナそれぞれも隙間を空けずに並べ、薬液の流亡をふせぐ



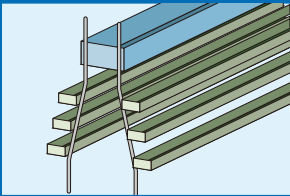
### 小型成型トレイ



- ① 挿し芽時は少な目の培土で薬液溜を意識した植え付けを行う
- ② 灌注処理時は小型成型トレイを隙間なく並べ、トレイ外への薬液の流亡をふせぐ



### ナイヤガラ育苗



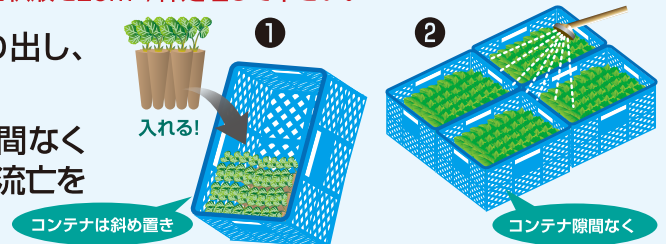
- ① 根のまわりの土は取り除かず、苗に付いたまま定植する
- ② 土を取り除いて本圃に定植する場合は、灌注は定植の2週間以上前に処理すること

### 小型成型ポット



小型成型ポットは50mℓ/株の液量の処理には適しません。  
ハダニ類を対象とした防除には、250倍希釈液を25mℓ/株処理して下さい。

- ① 苗を小型成型ポットから取り出し、コンテナに隙間なくつめる
- ② 灌注処理時はコンテナを隙間なく並べ、コンテナ外への薬液の流亡をふせぐ



●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00  
土日祝日および会社休日を除く

F-1138 21.07.TA